

平成28年度
事業報告書

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

社会福祉法人 陽光会

岡山県玉野市玉原2丁目24番40号

目次

1.	法人理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
2.	法人・事業の概要・・・・・・・・・・	P 1
3.	理事会及び評議員会の開催状況・・・・・・・・	P 2
4.	理事及び監事並びに評議員の状況・・・・・・・・	P 3
5.	事業の経過・・・・・・・・・・	P 4
6.	各事業所の報告	
	特別養護老人ホーム フェニックス・・・・・・・・	P 5
	デイサービスセンター フェニックス・・・・・・・・	P 5
	居宅介護支援事業所 フェニックス・・・・・・・・	P 5
	ホームヘルプサービス フェニックス・・・・・・・・	P 6
	ショートステイサービス フェニックス・・・・・・・・	P 6
	託児所 フェニックス・・・・・・・・・・	P 6
	訪問看護事業所 フェニックス・・・・・・・・・・	P 6

1. 法人理念

「施設運営の透明性、信頼の確保」

「安心と安全に暮らせる地域福祉」

「公共性と経済性のバランス確保」

2. 法人・事業の概要

法人の名称	社会福祉法人 陽光会
法人の設立年月日	平成 5 年 1 1 月 1 8 日
法人の代表者	理事長 立石 哲也
法人の所在地	岡山県玉野市玉原 2 丁目 2 4 番 4 0 号
電話・FAX 番号	(電話) 0863-32-3038 (FAX) 0863-32-3452
従業員数	80 名 (平成 29 年 3 月 31 日現在) (うち派遣職員 21 名を含む)

第一種社会福祉事業

特別養護老人ホームの経営 (特別養護老人ホーム フェニックス)

第二種社会福祉事業

老人デイサービス事業の経営 (デイサービスセンター フェニックス)

老人短期入所事業の経営 (ショートステイサービス フェニックス)

老人居宅介護等事業の経営 (ホームヘルプサービス フェニックス)

公益事業

居宅介護支援事業 (居宅介護支援事業所 フェニックス)

訪問看護事業 (訪問看護事業所 フェニックス)

【事業の種類及び名称等】

(名)

名 称	所 在 地	定 員
特別養護老人ホーム フェニックス	玉野市玉原 2-24-40	80
デイサービスセンター フェニックス	玉野市玉原 2-24-40	19
居宅介護支援事業所 フェニックス	玉野市築港 1-24-1 松本ビル 2F	—
ホームヘルプサービス フェニックス	玉野市玉原 2-24-40	—
ショートステイサービス フェニックス	玉野市玉原 2-24-40	20
託児所 フェニックス	玉野市玉原 2-24-40	6
訪問看護事業所 フェニックス	玉野市築港 1-24-1 松本ビル 2F	—

【延べ利用者数の推移】

(名)

名 称	平成 28 年度	平成 27 年度
特別養護老人ホーム フェニックス	26,663	25,317
デイサービスセンター フェニックス	3,259	3,368
ホームヘルプサービス フェニックス	2,157	2,260
ショートステイサービス フェニックス	4,297	4,574
託児所 フェニックス	837	516
訪問看護事業所 フェニックス	192	79

【職員数の推移】

(名)

名 称	平成28年度末	平成27年度末
特別養護老人ホーム フェニックス	59	37
デイサービスセンター フェニックス	6	9
居宅介護支援事業所 フェニックス	1	2
ホームヘルプサービス フェニックス	2	4
ショートステイサービス フェニックス	7	9
託児所 フェニックス	4	5
訪問看護事業所 フェニックス	1	4
合 計	80	70

(職員数にはパート職員、派遣職員も含む)

【借入金】

平成28年度末残高 13,800,000円 (3,450,000円 年賦償還)
 償還完了予定年月日 平成33年1月10日

3. 理事会及び評議員会の開催状況

【理事会開催状況】

第88回(平成28年 5月25日) 7名出席
 第89回(平成28年12月16日) 6名出席 (うち書面出席1名)
 第90回(平成29年 3月21日) 6名出席

【評議員会開催状況】

第51回(平成28年 5月25日) 16名出席
 第52回(平成28年12月16日) 13名出席

第53回（平成29年 3月21日） 14名出席

4. 理事及び監事、並びに評議員の状況

【理事・監事の状況】

役 職	氏 名	住 所	備 考
理事長	立 石 哲 也	玉野市玉	特別養護老人ホーム フェニックス 施設長
理 事	柏 谷 和 一 郎	玉野市八浜町八浜	
理 事	伊 達 昌 子	玉野市玉	
理 事	二 部 野 旭	岡山市南区片岡	
理 事	垣 内 邦 子	玉野市宇野	
理 事	森 学	玉野市和田	
理 事	橋 本 健 一	玉野市奥玉	
監 事	小 野 武	玉野市宇野	
監 事	島 田 静 寛	玉野市玉	

【評議員の状況】

役 職	氏 名	住 所	備 考
評議員	石 田 愛 子	玉野市田井	
評議員	小 野 和 秀	岡山市南区西高崎	
評議員	小 林 通 宣	玉野市奥玉	
評議員	嵯 峨 清	玉野市玉	
評議員	坂 本 笙 子	玉野市玉	
評議員	高 畠 五 十 鈴	玉野市玉原	
評議員	谷 口 康 則	玉野市宇野	
評議員	橋 本 芳 夫	玉野市奥玉	
評議員	長 谷 川 澄 子	玉野市長尾	
評議員	藤 井 覚	玉野市奥玉	
評議員	藤 原 克 彦	玉野市玉	
評議員	船 橋 順 子	玉野市奥玉	
評議員	松 田 雄 司	玉野市玉	
評議員	山 田 海 紀 男	玉野市玉原	
評議員	榎 本 成 孝	岡山市南区泉田	
評議員	梶 谷 典 之	岡山市北区西古松	

5. 事業の経過

当法人においては、「経営基盤の確立・強化」、「法人の経営理念に沿って事業を推進する」、「利用者サービスのより一層の向上」、以上3点を基本方針として事業を図った。

まず、経営基盤の確立・強化については昨年度の経営状況から大きく好転し、当期資金収支差額合計が平成27年度の▲51,023,259円から平成28年度は7,592,903円へと改善することができ、また、当期活動増減差額は平成27年度の▲49,625,898円から平成28年度は▲1,854,318円と改善することができた。ご利用者並びに地域から信頼される施設をつくるために、安定した経営状況は必須であり、その基盤を確立することができた1年であったと考えている。

次に、法人の経営理念に沿って事業を推進することについては、地域に根ざす法人としてクリーン作戦をはじめとする清掃活動への参加や、措置入所者の受け入れ、子ども参観日の開催、小学生児童を対象としたサマースクールの実施など多様な方面での活動を進めた。安心と安全に暮らせる地域福祉を実現するべく、今後も尚一層尽力する次第である。

利用者サービスのより一層の向上については、日々の中で小さなことに気付きをもつことを目標とし、その上でケアプランに沿った介護の実践、見直し、新たな計画の立案といったサイクルを循環させていくことに努めた。今後は事業所毎の各種委員会活動を充実させることや、外部、内部研修を通じた個々のスキルアップにより、ますますの向上を図る。

施設長をはじめ、法人事務局・特別養護老人ホーム・デイサービスセンター・居宅介護支援事業所・ホームヘルプサービス・ショートステイサービス・託児所・訪問看護事業所の各担当責任者による会議の開催や情報交換の場を多く持つように心がけ、日常的な課題の把握と解決に向けての対策について、積極的に取り組んだ。また、理事会・評議員会における運営状況の報告と、そこで頂戴したご意見を法人運営に反映させ、ご利用者及びご家族、職員への必要な情報提供を行うことにより、組織の連携強化に努めた。

慢性的な介護職員不足の中での運営を行っているところであり、人材の確保について、求人公募はもとより、人材派遣会社の利用、個人的勧誘など、様々な取り組みに努めた。人材の育成については、今年度も各種研修会への参加を積極的に行い、施設外研修は74回、延べ94名の職員が研修に参加し、学んだことを施設に持ち帰り共有する事により、職員の質の向上に取り組んだ。今後も職員の質の向上、優秀な人材の確保、育成に努めるとともに、ご利用者のニーズに適切な対応ができる様、地域の福祉向上に努める。

今年度も適正な法人運営を行うために努力を続けたが、未だ不十分な点や改善すべき課題が多々存在する。平成29年度には社会福祉法の大きな改正があり、法人の運営についても変革が求められている。そのような環境の変化に対応し得るべく、職員一同法令遵守（コンプライアンス）の徹底を図るとともに、倫理研修会を開催し、より一層の意識改革を実施する。

6. 各事業所の報告

特別養護老人ホーム フェニックス

ご利用者一人ひとりの立場に立ち、快適かつ安心して生活できる環境と空間の整備に努めた。また、日常生活動作の維持、向上の為機能訓練指導員を1名増員し、ご利用者の状態に応じて、機能訓練を実施した。

ご利用者の健康管理においては、嘱託医と看護職員、介護職員との連携を密に取ることにより、病気の早期発見・早期治療に努めるとともに、管理栄養士による栄養ケア計画に基づき栄養管理を行った。

しかし、平成27年度に続き、平成28年度の施設稼働率も目標値を下回る結果となった。目標稼働率94.0%に対し、実稼働率は91.3%となった。下回った原因としては、平成29年2月の実稼働率が82.0%、同じく3月が84.0%と落ち込んだことが挙げられる。その要因としては、入院者数の増加及び新規入所者の確保が進まなかったことがある。これらの課題を克服するために、各専門職種での連携を強化する。具体的には、介護支援専門員を中心とする適切なケアプランの策定。介護職員を中心とするケアプランに基づいたケアの実践と確認。看護師・嘱託医を中心とする健康管理の徹底。栄養士を中心とする栄養マネジメントの充実。機能訓練指導員を中心とする日常生活動作の維持・向上。同時に、生活相談員が地域連絡会に参加し、声掛けを並行して行う。これらの他職種協働により、入院者減少、空床期間の短縮を図り、施設稼働率の向上を図る。

今後も地域の様々なイベントやボランティア活動への参加を含め、各種関係機関・団体との協力体制を強化しながら、さらに地域から愛される施設となるべく努力を続ける。

デイサービスセンター フェニックス

ご利用者に可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ、自立もしくは自立を目指した日常生活を営んで頂くことを主としてサービス提供に努めた。地域との交流として、玉原幼稚園様や、わかば教室様に来所して頂き、ご利用者と地域の子どもがふれあう機会を設けた。

目標稼働率80.0%、一日平均利用者数15.5名に対し、実稼働率61.2%、一日平均利用者数11.6名となり、目標値を下回る結果となった。その原因としては、新規利用者の獲得が思うように進まなかったことにある。今後はご利用者が自己決定、自己選択できるサービス提供と、社会的存在意義を感じていただけるデイサービスを実践することにより差別化を図り、稼働率の向上を目指す。

居宅介護支援事業所 フェニックス

常にご利用者の立場に立ったサービスの提供に努め、延べ426名の支援を行った。今後も公

平中立な立場として、ご利用者一人ひとりのニーズに添えるケアプランを提供し、地域の支援を行う。

ホームヘルプサービス フェニックス

当年度後期には、従業員の全員が介護福祉士資格所持者となり、サービス内容の安定及び充実、並びに安心をもたらすサービスを提供することができ、29年度に繋がる事業展開ができたと考えている。

利用者数としてはほぼ横ばいの数字となった。目標利用者数2,600名、目標一日平均利用者数10名に対し、実利用者数2,157名、1日平均利用者数8.4名となった。今後も玉野市をはじめとする関係機関との連携を密に取り、利用者満足度の追及を行う。

ショートステイサービス フェニックス

ご利用者の意思及び人権を尊重するとともに、ご家族の身体的・精神的負担の軽減を図るサービスの提供を行った。今年度の目標稼働率80.0%に対し、実稼働率58.9%となった。新規利用者の獲得といった面で課題があり、今後の稼働率向上のため、特別養護老人ホーム併設施設としての強みを活かし、利用者ニーズへの柔軟な対応を行う。地域や居宅介護支援事業所へ向け、介護者の負担軽減目的での受け入れ、入所待機者の受け入れなどの強みを発信する。

託児所 フェニックス

子ども一人ひとりに合った援助、関わりを行うため、年間指導計画、各年齢の指導計画、個別指導計画を作成し、保護者の方が安心して託児所を利用して頂けるように取り組み、延べ837名、一日平均3.5名の利用となった。

また、子どもの安全を考え、毎月1回の避難訓練を実施、健康面では毎月1回身体測定を行い、子どもの成長を把握するとともに、個々に合った保育ができるよう努めた。

日中活動として、異年齢児と一緒に製作や運動遊びをする中で、思いやりの心を育み、戸外散歩で自然との触れ合いを通して、子どもの好奇心や感受性を養っていけるよう努めた。

訪問看護事業所 フェニックス

ご利用者の在宅生活において安全と安心を感じていただけるサービスの提供を行い、延べ189名、1ヶ月平均16.0名の利用があった。

新規利用者の獲得といった点で課題があり、厳しい運営が続いている。今後の対応としては、当事業所を地域に浸透させることを目指し運営を行う。今後拡大すると見込まれる在宅ケアの需要にしっかりと応えることができるよう、医療、地域との連携強化を行う。